



私たちにできること

発達教育学部教授 内海 成 治

私は国際協力という分野で仕事をしてきた。はじめは国際協力事業団(現国際協力機構)の専門員として、その後大学の教員として働いてきた。専門は開発途上国の教育開発を支援する国際教育協力論と言う領域である。さまざまな国や地域で実践と研究を行ってきた。途上国での仕事は楽ではないが、心を激しく動かされることも多い。そうした経験は、私の思いを大きく変えることもあった。その中でも、中米のグアテマラでの思い出は今も心に残っている。

市が見えてくる。街の中央に飛行場があり機体はビルを掠めるように着陸する。グアテマラの首都グアテマラ市である。海拔1500メートルの高原都市である。グアテマラの面積は11万平方キロ弱で人口は1658万人(2016年)である。また、多くの火山と湖に恵まれた美しい国である。グアテマラの特徴は人口の半分が先住民のマヤ系の人々ということである。

私がグアテマラに行くことになったのは、先住民の子どもの教育が不十分で、特に女の子の教育水準が低いということ。女子教育(エデュケ・アラニーニヤ)プロジェクトを始めることになったからである。このプロジェクトはアメリカと共同で行った。

私たちはプロジェクトを始めるために、なぜマヤの女の子の教育水準が低いのかを調べることにした。その原因が分らないと効果的な支援ができないからである。アメリカの専門家は、教師が女子児童の能力を認めず、期待しないからだという。つまりビッグマリオン効果が働いているというのである。

私たちはこのことを確かめるため調査を行うことにした。調査を行った県のひとつが、トトニカパン県である。グアテマラの中央部は南北にシエラ・マドレ山脈が聳え、最高峰は4000メートルを越える。山々に囲まれるようにしてマヤの人々が暮らしている。トトニカパンはグアテマラ市の西150キロメートルのところにある。グアテマラは珈琲の産地として有名だが、果物も豊富でトトニカパンはりんごの産地としてよく知られている。トトニカパンの小学校を訪ね校長や教員にインタビューを行い、授業を録画して分析した。また家庭訪問も行いマヤの暮らし、特に子どもの生活を知らうとした。

私たちの結論はアメリカ側の分析とは異なり、女の子の未就学や学力不振は彼女らの生活に起因するということであった。まず、教員の意識には男女の生徒に対する期待の差は見られなかった。グアテマラの小学校には女性教員も多く、女子に対する教育の必要性

に高い意識を持っていた。しかし、女の子は男の子に比べてスペイン語能力に大きな差があり、特に文法やスペリングの能力はかなり劣っていた。グアテマラの子どもは、男子と女子の役割分担がはっきりしており、女の子は家の中で母親と共に過ごす時間が多い。マヤの母親はほとんど教育を受けていないためマヤ語(ここではトトニカパン語)を話している。そのため女の子はスペイン語に触れることが少ないのである。また、小学校の施設は女性用のトイレが整備されていないことや給食の設備が十分でなかった。

そのため日本側としては、無償資金協力による学校の整備、技術協力プロジェクトとして教員のマヤ語の研修、授業法の改善、親やコミュニティへの女子教育の大切さのアドボカシーなどを提案することにした。また、マヤ語の文字化の促進、マヤ語教材の開発などを行っている大学との協力も視野に入れる必要があるとした。こうした日本側の提案をアメリカ側と共同で実施することは大変であったが大筋で実施する運びとなった。

学校での長時間にわたる調査を終えて駐車場までの急な坂道を下るときに子どもたちが一緒に歩いてくる。なんだか楽しそうに笑いながら歩いている。ふと気がつくとき、背広のポケットが膨らんでいる。なんだろうと手を入れてみると、ピンポン球のような小さな林檎がたくさん入っている。彼女たちが私に気がつかないように歩きながらそっと入れてくれたプレゼントであった。私がリングゴに気がつくとき子どもたちはいっせいに笑いながら離れていくのである。私は手にあふれるばかりのたくさんの林檎を見て、胸が熱くなり、涙が出るのをこらえ切れなかった。子どもたちは私にできる限りのことをしてくれていたのである。彼女らは見返りを求めているのではない、彼女らができる最大のことを私にしてくれたのである。小さいことかもしれない。しかし、人に喜んでもらえることをそっとすること。その小さな行いがどれほど人を感動させるものなのか。

そしてその子らの行為は私の国際協力に対する考え方を大きく変えたのである。国際協力は物と物の関係ではなく、人と人の関係、心と心の触れ合いなのだ。私たちは世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

法のことば

本師源空世にいでて
弘願の一乗ひろめつつ
日本一州ごとごとく
浄土の機縁あらはれぬ

七高僧の最後は、親鸞さまの師匠であった法然房源空聖人の子として生まれ、九歳の時、父が敵対していた明石源内に謀殺されますが、父の遺言に従い菩提寺勧覚のもとへ入寺されます。十三歳で比叡山に登って天台教学を学び、さらに南都にも遊学した後、一切経六千数百巻を五度わたって通読し、「智慧第一の法然房」と称されますが、生死の迷いを解決する道を得ることができず、四十三歳の時、善導大師の『観経疏』の一文に出あって、阿彌陀仏の本願による専修念仏に帰し、比叡山を下りて東山吉水の草庵にて、男女貴賤道俗を問わず、誰もが平等に救われていく「弘願一乗」の教えを弘められます。これによって「日本一州ごとごとく」浄土の教えを信受する機縁が起ったのです。

七高僧の最後は、親鸞さまの師匠であった法然房源空聖人の子として生まれ、九歳の時、父が敵対していた明石源内に謀殺されますが、父の遺言に従い菩提寺勧覚のもとへ入寺されます。十三歳で比叡山に登って天台教学を学び、さらに南都にも遊学した後、一切経六千数百巻を五度わたって通読し、「智慧第一の法然房」と称されますが、生死の迷いを解決する道を得ることができず、四十三歳の時、善導大師の『観経疏』の一文に出あって、阿彌陀仏の本願による専修念仏に帰し、比叡山を下りて東山吉水の草庵にて、男女貴賤道俗を問わず、誰もが平等に救われていく「弘願一乗」の教えを弘められます。これによって「日本一州ごとごとく」浄土の教えを信受する機縁が起ったのです。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

三浦 真証

シリーズ 智慧の蔵 ②

『その悲しみに寄り添えたなら』 天野和公著 イースト・プレス 二〇一八年九月



臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

臨床宗教師という言葉を知っていますか? 臨床宗教師は、キリスト教のチャプレンをベースとしながら、日本独自の発展を遂げたもの。宗教的な勧誘はせず、医療・福祉などの施設で心のケアを求めている。心と心の触れ合いの関係を、心と心の触れ合いなのだ。私たちが世界の困難に対して何もできないかと思いがちだが、私たちにできることはたくさんある。その子どもたちをその困難さを感じることを、忘れないこともできることのひとつだと思ふ。そのことを教えてくれた小さな林檎は私にとって大きな林檎なのである。

三浦 真証

お知らせ

卒業生本願寺参拝 帰敬式(おかみそり)受式のお知らせ

卒業式を前に、み仏様の前で卒業の喜びと感謝の気持ちを報告申し上げる卒業生の本願寺参拝を実施致しますので、必ずご参拝ください。

また、参拝終了後、希望者を対象に帰敬式が執り行われます。

- 卒業生本願寺参拝(全卒業回生)

日時 平成31年3月14日(木) 10:00~(9:30集合厳守)

場所 本願寺御影堂
- 帰敬式・法名伝達のつどい(希望者のみ)

日時 平成31年3月14日(木) 参拝終了後~13時45分

場所 本願寺御影堂・京都東急ホテル

冥加金 1,000円(大学より2,000円の補助を受けています)

*帰敬式とは、み仏の道を歩むことを誓う入門式としての儀式のことです。「おかみそり」とも言い、受式者には「法名」が与えられます。

*受式後、法名伝達の集いが催されます。

*京都東急ホテルにて、軽食(ケーキなど)を準備いたします。

*出席された方には記念品をお渡しいたします。

◇受式希望者は平成31年1月9日(水)~3月7日(木)の期間中に、L校舎証明書発行機にて冥加金を納入し、出力された申込書を宗教教育センター(同3階)まで持参し手続きをしてください。